

県指定文化財<建造物>

えんつうじ いしもん 円通寺の石門

指定日 昭和63年3月15日

所在地 菊池市旭志弁利 岩本



円通寺ははじめ天長4年(824)山城の国(京都府)に建てられた。時を経て衰微したこの寺を、延久2年(1070)菊池初代則隆が勅許を得てこの地に移し造営した。元寇時の猛将菊池武房は寺領15町を寄進とあり、菊池一族の厚い信仰の中心として繁栄したが、菊池氏の衰退とともに寺院も衰えた。天正年間(1573～1592)戦禍に焼き払われた。

寛文7年(1667)、玄喜和尚が熊本泰勝寺、春山和尚にはかり、再興する。時移り天保年間(1830～1844)自忍和尚は自ら復興に努め、唐風の石門を建て、宝池を築き、仏像を彫り、寺内を修復した。

明治33年(1900)、本堂裏の屏風岩に88箇所の修行道が区民により作られ、近年は石楠花園も整備され参拝に供している。本堂横の岸壁には「大悲」の文字がある。

平成12年、台風、地震、交通量の増加などにより傷んだ石門が、熊本県、旭志村(当時)、岩本区により修復された。